

## 「市民と野党の共闘」の輪を広げ、いのちと暮らしを守る政権に変えよう

### 兵庫県 12 選挙区のうち 9 選挙区で「野党統一候補」実現

9 年におよぶ安倍・菅政治の「民主主義の暗闇」を経て自公政権は岸田政権に代わりましたが、国民はコロナ「第 6 波」への不安を抱いたまま、落ち込んだ暮らしと経済の先行きはいぜん不透明なままです。1 ヶ月近くにおよんだ自民党内の権力争いの間、コロナ対応は足踏みを続け、疲弊した暮らしと事業者は追い詰められたままです。感染爆発の間も、自民党内の権力争いの間も、重要な外交案件待ってはくれませんが、この国の政治リーダーたちの眼中には入らなかったようです。

岸田政権が発足した 4 日、総選挙の日程は急遽 10 月 19 日公示、31 日投票に決まりました。当初予定されていた日程を 1 週間繰り上げたものですが「内閣発足直後の支持率の高いうちに」という思惑です。衆院議員の任期満了日を過ぎてからの選挙になり、戦後初めての「任期満了後選挙」になります。規定上は可能であっても、選挙期日を決める立場にある政府・与党にとっては任期満了前に選挙をできなかつたことは大きな政治責任です。総裁選を挟んだことや、ワクチン接種が普及することで与党に有利な状況ができることが想定されていたことを考えると、党利党略の解散時期を弄んできたことに加えて選挙時期まで党利党略に使ったと批判されてもやむを得ません。

今回の選挙は、9 年に及んだ「安倍・菅政治」の功罪を検証し、2 年に及んだコロナ禍への対応の総括が問われる選挙です。新自由主義経済の“断末魔”を彷彿させる「アベノミクス」によって、格差や貧困が拡大し、産業競争力が低下して日本経済が混迷から抜け出せなくなっています。

政治の世界では「森友、加計、桜」問題に象徴される政治の私物化と隠ぺい、官邸への官僚の村度政治が横行し、国会軽視と民主主義の危機が進行しました。国会を国権の最高機関に位置付けた立憲主義と、国民の苦境に対応する民主主義の危機は、持ち越されたままです。

何よりも昨年初めから始まったコロナ禍では政府の対応が後手々に回り、専門家の科学的知見よりも政権の政治的都合を優先させた結果、5 波に及ぶ感染拡大と 4 回にわたる緊急事態宣言の発出に追い込まれました。第 5 波では一日の感染者がピーク時には 2 万 5000 人超となり 10 万人に及ぶ感染者が自宅待機を迫られる“医療崩壊”が現実のものになりました。9 月下旬から感染状況は改善し、10 月 1 日には緊急事態宣言やまん延防止措置がほぼ半年ぶりに全面解除されましたが、専門家は 11 月以降の第 6 波が不可避と警鐘を鳴らしています。にもかかわらず、検査体制の強化も臨時病棟などの医療体制づくりも、対応はまだこれからの課題になっています。

このような状況下で迎える総選挙で、私たちは国民のいのちと暮らしを守り、コロナ対策に的確に対応できる政治へ転換しなければなりません。新しい自公政権は安倍・菅政治の影を色濃く引きずり、国民の不安に応え、政治を立て直す政策と姿勢と道筋が未だ明らかではありません。コロナ後の社会に対応できるようこの国の政治と経済を抜本的に変革させ、世界の変化に対応した平和と人権、エネルギーと食糧危機、格差の是正と公平な分配、マイノリティーやジェンダー平等などの政策をリードできる政権を創り出すことが今こそ必要です。

「市民と野党の共闘」は少し遠回りしてきましたが、9 月以降、野党各党は共通政策を合意し、党首会談等を重ねて選挙後の政権構想や自公候補と“一騎打ち”でたたかえる選挙区候補者の一本化も進んでいます。兵庫県では 12 の選挙区のうち 9 つの選挙区ですでに「事実上の野党候補の本一本化」が行われています。連帯兵庫みなせんは兵庫県内の野党との協議の中で、9 つの選挙区の 9 人の野党候補予定者を「市民と野党の統一候補」としました。

投票することによって、政治は変えられます。投票率が年々低下する中で、これまでそっぽを向いていた人のほんの 5%、10%の人が投票に行くだけで、政治は劇的に変わります。政治を変え、暮らしを変え、未来を変えるために、選挙へ行きましょう。政治の流れを、投票で変えましょう。

# 兵庫県内 12 選挙区のうち 9 選挙区で「市民と野党の統一候補」

「連帯兵庫みなせん」と県内の立憲野党 6 党との協議を経て一本化

1 区	2 区	3 区	4 区	5 区	6 区	7 区	8 区	9 区	10 区	11 区	12 区
東灘 灘 中央	兵庫 長田 北区	須磨 垂水	西区 北播	丹波 但馬 三田	宝塚 伊丹 川西	西宮 芦屋	尼崎	明石 淡路	加古川 高砂 加古郡	姫路	西播
井 坂 信 彦	船宮 川野 治鶴 郎生	佐赤 藤田 泰勝 樹紀	今 泉 ま お	梶 原 康 弘	桜 井 周	安 田 真 理	こ 辻 む ら 潤 恵	福 原 ゆ かり	お き 圭 子	太 田 清 幸	酒 井 孝 典
立憲民主	立憲民主 共産	国民民主 共産	立憲民主	立憲民主	立憲民主	立憲民主	共産 新れ 選い 組わ	共産	立憲民主	共産	立憲民主

## 政治を変える投票へ行こう！

9 年間の「安倍・菅政治」が終わり、1 ヶ月に及んだ自民党の後継選びを経て岸田政権が 10 月 4 日発足した途端、10 月 19 日公示で衆院選が繰り上げ実施されることになった。

国会をないがしろにし、国政の私物化と格差拡大をもたらして国民の暮らしを窮地に陥れ、コロナ禍で医療崩壊と暮らしと経済を破綻に追い込んだ政治の出口は、政権の顔を入れ代えただけでは見えてこない。

4 年ぶりの総選挙では、国民のいのちと暮らしを守り、コロナ禍に真正面から向き合える政権に交代させよう。あなたの 1 票が政治と暮らしを変える。

2 年間の“コロナ地獄”を終わらせるために。

(発表済み分 2021. 10. 5 現在)

兵庫県では 6 年前から「市民と野党の共闘」をめざした市民団体「連帯兵庫みなせん」が兵庫県内の立憲野党と継続的に協議を重ねて、2016、2017、2019 年の 3 つの国政選挙に取り組んできました。

前回衆院選での苦い体験を活かして、次期衆院選へ向けて選挙区の野党候補を一本化する協議を 3 年間重ねてきた結果、12 の選挙区のうち 9 つの選挙区で野党候補の一本化ができました。

自公政治に終止符を打つためにも兵庫の選挙区で野党議席を奪還しましょう。それぞれの選挙区で、政権交代を呼びかけ、投票を働きかけましょう。



**連帯兵庫みなせん** 平和と立憲主義、いのちと暮らしを守る市民選挙・連帯兵庫

連絡先：078-691-4593 (Tel) 078-691-5985 (fax) Mail: [minasenyogo2016@gmail.com](mailto:minasenyogo2016@gmail.com)